



タウンサポーター

【発行】下都賀教育事務所 ふれあい学習課 栃木市神田町6-6 0282-23-3422 E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



下都賀地区ふれあい学習研修会



兼ねて実施しました。

研修では、「これからの学校と地域の連携・協働」と題して、文部科学省 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 部長 藤原 文雄氏による御講話をいただきました。

参加者からは、「学校と地域の連携・協働は手段の一つであり、ゴールではないということが理解できました。」「社会の変容を感じながら自分と向き合い、これまでの自分を懐し、子どもたちのために頑張りたいと思いました。」などの前向きな感想が寄せられました。

コロナ禍で様々な制約がある中ですが、本研修を契機として、参加者がそれぞれの立場でできることに取り組み、ふれあい学習の推進を図っていただければ幸いです。



とちぎ未来大使『夢』講座

栃木県教育委員会では、今年度も「とちぎ未来大使『夢』講座」を実施しています。この事業は、現在「とちぎ未来大使」として活躍されている講師の中学時代の経験や目標達成までの過程を講話や実演・交流をとおして伝えることで、中学生が自分の「夢」について考える機会とすることを目的としています。



小山市立美田中学校では11月18日(水)にピアニストの 岩下 淳子 氏を、栃木市立栃木東中学校では12月10日(木)にヴァイオリニストの 前田 みねり 氏をお迎えし、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で開催しました。

生徒からは「『夢』をもつことで、どんなことにも頑張っ取り組むことができるということを知り、自分も『夢』をもち、将来に向けて頑張りたいと思いました。」「自分の道は自分で切り開くものだと思いました。今越えることができない問題があっても、続けていけばいつかその努力が自分の力になって、スキルアップにつながるということが分かりました。」といった感想が多数寄せられました。



地域をつなぐ

野木町 「人権カレンダー」を通じて

野木町では小中学生を対象に、毎年夏休みを利用して「人権」をテーマとした標語やポスターを募集しています。作品と、各学校・町及び教育委員会の行事予定を一緒に盛り込んだカレンダーを作成して全家庭に配布することにより、人権啓発の一助とすることがねらいです。

町民からは「小中学生の作品が掲載された人権カレンダーの受け取りを、毎年楽しみに待っている。」「家族みんなのよく目につくところに掲示している。」といった声が寄せられています。新型コロナウイルスの関係で夏休みが短かったにもかかわらず、今年もたくさんの応募がありました。先日「令和3年度人権カレンダー」に掲載する作品の審査会を行いました。どの作品もすばらしく、来年度のカレンダーができあがるのが今からとても楽しみです。

今後もこのような活動をおして、町民一人一人が人権について考える機会を提供することで、人権問題の解消や差別の防止に向けた普及啓発の推進に努め、地域とのつながりづくりや、人々の交流につなげていきたいと思ひます。



ふれあい学習

下野市 校外学習(インタビュー・体験) & 里山活動



今年度、県の「頑張る学校・地域」応援プロジェクト」のモデル校として指定を受けている国分寺中学校では、11月11日(水)に校外学習(総合的な学習の時間)と里山活動を行いました。

校外学習は、地元生産者の農業や畜産業に対する思いと普段何気なく口にしている農作物の生産過程・栽培方法などを知ることを目的として実施しました。インタビューや農業体験を通して、生産者から学び、地域の一員としての自覚を育むことにもつながりました。実施にあたっては、10名以上の農家の方々にご協力をいただきました。里山活動では市文化財課・シルバー人材センターの協力のもと、国分寺跡の落ち葉の清掃を行いました。集めた落ち葉は一か所にまとめ、今後、腐葉土として活用する予定です。現下のコロナ禍で、ふれあい学習についても実施が難しい状況ですが、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」に向けて、可能な地域連携を図っていききたいと思ひます。



生活誌 ふくべたちのハロウィンナイト 2020

今年で3回目を迎える「ふくべたちのハロウィンナイト」はまちなか創生事業の一つとしてスタートしました。蘭学通り商店街では、「ふくべでハロウィン」を合言葉に子ども達が商店街をまわり、お店の人たちからお菓子をもらいます。また、廃園になった幼稚園を借りてお化け屋敷にしたり、お寺のお堂前にランウェイを作り仮装コンテストを行ったりし、このハロウィンナイトは世代間交流の場となっていました。



しかし、今年は感染拡大防止の観点から、SNSを利用しての開催となりました。ハロウィンの仮装フォトやハロウィンにちなんだお絵描きを写真で募集し、コンテストを実施しました。また、期間中、商店街には「ふくべ(ゆうがおの実)」のジャック・オー・ランタンを飾りました。街中にひょっこり現れたふくべたちは、道行く人をほっこりあたたかな気持ちにしてくれたことと思ひます。



栃木工業高等学校 「うずまの竹明かり」ライトアップ中です



新型コロナウイルスの影響により教育活動が制限される場面も多い現状ですが、少しずつ活動も再開してきています。その中でも、11月1日(日)より栃木市を流れる巴波川の夜を綺麗に照らす、竹明かりのライトアップを紹介いたします。

9月26日(土)・27日(日)の二日間、栃木工業高等学校にて、竹明かりの製作が行われました。製作に参加したのは栃木市内の小中学生18名です。栃木工業高の高校生が先生役を務めながら、竹筒の加工やLED電球の装着に取り組みました。先生役を務めた高校生は、前日にNPO法人・蔵の街遊覧船に出向き「蔵の街、栃木の歴史」や「竹あかりの製作に関するノウハウ」を学ぶことができました。教わったノウハウを活かして小中学生にもものづくりの面白さを伝えることができ、全員に達成感と笑顔があふれた二日間でした。



「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。